

広
報

かわづ

December

12

2019 年 No.568



380人の鉄人が 町を疾走

マチイロで
広報かわづ配信中！



特集 第4回河津フラワートライアスロン大会



第4回河津フラワートライアスロン大会 圧巻のレース、燃える鉄人

第4回河津フラワートライアスロン大会が11月10日、河津浜海水浴場をスタートし開催されました。全国各地から380人の鉄人たちが集まり、シーズン最後の大会で熱いレースを繰り広げました。

鉄人380人が挑戦

河津フラワートライアスロン大会は、地域活性化を目的に大会実行委員会（町や渋谷区トライアスロン連合などで構成）が開催しています。一般の人も参加しやすい距離に設定された五輪公式距離スイム1.5km・バイク40km・ラン10km、合計91.5kmを競います。昨年の第3回大会は、トライアスロン専門誌「Triathlon Lumina」のトライアスリートが選ぶ人気大会ランキングで、500人以下の部で第1位を獲得しました。

シーズン最後の大会

11月でも20℃程度の海水温が保たれている河津での大会は、国内のトライアスロンシーズンを締めくくる最後の大会です。当日は晴天に恵まれ、選手らは午前9時に河津浜海水浴場のスイムからスタート。海岸を3往復する1.5kmを泳いだ後、バイクで河津駅から峰大橋交差点までの周回コースを疾走。最後は河津川沿いを走りぬけ、観光交流館のフィニッシュを目指しました。

Kawazu 河津 × 渋谷 Shibuya

トライアスロン大会のほかにも
河津町と渋谷区は
さまざまな連携に取り組んでいます

1. 都市と農村の交流事業

農業体験ツアー

逆 川地区で渋谷区の家族連れが年間を通じ農業体験を行っています。10月26日、7組22人がサツマイモの収穫やもち米の稲刈りを体験しました。渋谷区民は、逆川地区有志「さかさがわ実りの里」の指導のもと、都市では経験できない農業を家族で体験し、畑では親子の笑顔があふれていました。



▲サツマイモを収穫する参加者

水泳教室

渋谷 谷区保養施設「河津さくらの里しゅばや」＝下峰＝のプールで、夏休みに町内の小学生を対象に水泳教室が行われました。株式会社渋谷サービス公社のインストラクター瀬端千秋さんの指導のもと、参加した小学生33人が泳ぎ方の基礎を学びました。児童らは、すぐにコツをつかみ上手に泳いでいました。



▲インストラクターによる指導を受ける児童



1_スイム1周目を終えて浜へあがり折り返す選手 2_スタートした選手に声援を送る 3_スタート前海をみつめる選手の真剣なまなざし 4_荒ぶる河津浜を攻略するのが上位入賞への鍵 5_田中地区を疾走するバイク 6_海岸付近のトランジションエリアにズラリと並ぶバイクは圧巻の光景 7_大堰の折り返し地点 8_視覚障がい選手は二人乗り自転車ガイドとともに競技に参加

下田消防署Aチーム
鈴木怜さん、斎藤芳彦さん、
田中泰斗さん
リレーの部 12位/40チーム
下田消防署Bチーム
谷康平さん、村木智洋さん、
高野広海さん
リレーの部 13位/40チーム



Voice☑️出場選手

下田消防署チーム初出場！笑顔でフィニッシュ

ス イムもバイクも楽しかったです。ランは天気も良く、応援してくれる人もたくさんいて、気持ちよく走れました。来年も準備して参加します！

(島崎衛監督) 最近トレーニングで、バイクやスイムをやっている署員がいたので声をかけたら2チーム集まりました。来年は3チーム出場、個人の部出場を楽しみに目指します。



▲ランで疾走するBチーム

地元選手も参加、笑顔あふれた大会

多くの人の力が集結

4年目を迎えた今年の大会には、役場職員や下田消防署チームなど、前大会以上に多くの地元選手が参加しました。応援フラッグを持ちコース沿いで応援する人は、地元選手が通過すると大きな声で「がんばって！」と声援を送りました。声援を受けた選手は、険しい表情をしながらも笑顔で手を振りながら爽やかに走りました。

近年、愛好者人口が増えたトライアスロン。大会開催には、広大な開催エリアと海や道路の許可、多くの人の力が必要です。今年もコース沿線住民のみなさんの協力、ボランティアを含めたたくさんの人の力が集結しました。また、選手のなかには河津町に「ふるさと納税」し、本大会参加権と宿泊補助券を返礼活用する選手も増えました。

2020東京五輪を前に、今シーズン最後の大会が河津でフィニッシュしました。



2



3



1



M・S・I PUBLICチーム
宮前慶一さん（埼玉県）
佐々木克幸さん（長野県）
飯塚大輔さん（埼玉県）
リレーの部 優勝/40チーム

昨年4位から悲願の初V
来年も連覇をめざします！

河津大会は、昨年に続き2回目の参加です。昨年4位だったので、表彰台を目指して準備をしてきた結果が出せました。来年も連覇を目指して、公務員チームで頑張ります！

満身創痍で挑んだ
スイム・バイク・ラン

昨年チームで出場した経験を活かし、今年初めて個人でスイム、バイク、ランに挑戦しましたが、スイムで足がつってしまい満身創痍でゴールを目指しました。

Voice☑出場選手



山下永吉さん（河津町役場職員）
個人の部 150位/269人

Kawazu 河津 × 渋谷 Shibuya

コスモプラネタリウム渋谷 2. 天体観望会

ア ポロ月着陸50周年天体観望会が11月15・16日、河津バガテル公園で行われました。「コスモプラネタリウム渋谷」の村松解説員を講師にむかえ、月について学んだあと、望遠鏡で月や星を観察しました。町民や渋谷区民78人が参加し、河津の秋の夜空を楽しみました。



▲村松解説員の月の話を熱心に聞く参加者

3. 渋谷区くみのの広場

第 42回渋谷区くみのの広場ふるさと渋谷フェスティバルが11月2・3日、代々木公園で行われ、河津町産業経済活性化連絡協議会と河津町農業経営振興会が参加しました。会場では、河津のみかんや干物などを販売し、観光をPRしました。ブースは行列ができるほどの人気でした。



▲河津町ブースで商品を買求める来場者



1_最終種目ランでトリムコースを駆けぬける
2_快晴の秋空のもと爽やかに走る 3_折り返しまであと少し! 河津校並木沿いのコース 4_トップでフィニッシュした山下陽裕さん(埼玉県)
5_閉会式後にはスポーツグッズなどの景品が当たるじゃんけん大会を開催 6_フィニッシュした選手に振る舞われた下峰根岸会の猪鍋は行列ができるほど大人気 7_大会トロフィー(榊天城カントリー工房制作) 8_入賞し表彰台で笑顔を見せるリレーチーム 表彰台は今年も氷の彫刻で彩られた



330人のボランティアが参加しました



三島信用金庫・東京2020オリンピックパラリンピック選手受付、説明会、フィニッシュエリアブース



下田高等学校
フィニッシュエリアで選手ヘトラバック(荷物)の受け渡し



河津中学校・稲取高等学校
選手にタオルやカーネーションの配布、フィニッシュテープ



町民一般ボランティア
エイドステーション(給水所)で飲み物の受け渡し、走路観察

町表彰式

町の振興発展に功績ある2人を表彰

町表彰式が11月3日、役場議場で行われ、長年にわたり町の振興発展に貢献した2人に岸重宏町長から表彰状と感謝状が贈られました。



表彰状を授与される山田勇さん



前列中央左：山田勇さん 前列中央右：土屋達雄さん

表彰式では、岸重宏町長が「それぞれの分野において、日夜献身的な活動が続けられ、町政に多大な貢献をしていただき、心から感謝申し上げます。」と式辞を述べ、受賞者に表彰状と感謝状を贈り、受賞者を代表して山田勇さんが謝辞を述べました。

功労表彰

山田 勇さん（77歳）

上佐ヶ野

多年にわたり、河津町議会議員を務め、その間同議長、同常任委員長の要職を歴任するなど議会運営に尽力し、地方自治の発展に大きく寄与されました。また、地区行政連絡委員を務め地域行政の進展に寄与されました。

感謝状

土屋 達雄さん（86歳）

田中

長年にわたり、かわづ花の会会長、河津桜守人の会会長として河津桜の観測、保護育成などボランティア活動に精力的に尽力されました。6月には、静岡県さくら功労者表彰を受けました。

町文化祭

1年間の集大成を文化祭で披露

町文化協会主催の町民文化祭展示の部が11月3・4日、舞台の部が11月17日、南小中学校体育館で行われ、子どもから大人までが1年間の集大成を披露しました。

展示の部

展示の部では、同協会加盟団体や個人、小中学校児童生徒、幼稚園児の作品などが展示されました。会場には、短歌や絵画、写真、ハワイアンキルトなどさまざまな分野の作品が並び、河津茶道会によるお茶席も設けられました。

舞台の部

舞台の部では、賀茂少年少女合唱団による合唱や河津中学校吹奏楽部による演奏、バレエ、ダンスなどが披露されました。会場を訪れた人は、ダンスや音楽に合わせて手拍子をして楽しんでいました。



1_展示された作品を見学（展示の部）
2_バレエを披露する子どもたち（舞台の部）



知っておこう

災害時の医療の流れ

医療救護所の開設

大規模な災害が起こると、多数の負傷者が発生する一方で、病院や診療所も被害を受けるため、医療はさまざまな制限を受けます。このような中で一人でも多くの命を救うため、町は賀茂医師会など医療関係者の皆さんと協力をしながら、トリアージや応急手当などの医療救護活動を行う救護所を開設します。

傷病者の搬送

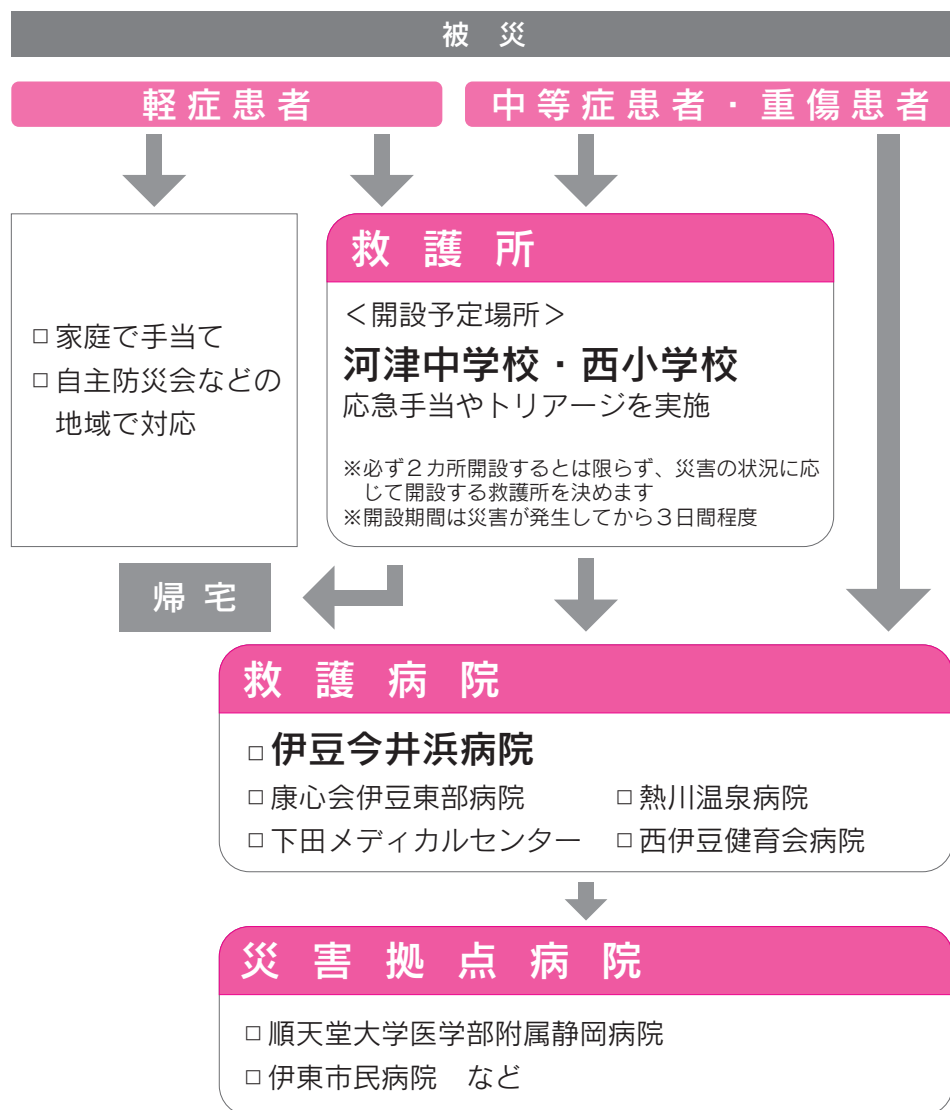
多くの傷病者を速やかに救護所や救護病院へ搬送するためには、少しでも多くの搬送手段が必要となります。災害時には、自主防災会など地域の皆さんのご協力をお願いします。被災時に医療関係者が近くにいないとき、傷病者の搬送順序や搬送先を、地域住民が判断せざるを得ない状況になることが予想されます。被災現場で皆さんが、傷病者

を目の前にしたときに、どの傷病者からどこに運ぶかを判断する知識を高めるため、今

後は、防災訓練などの機会を利用して、簡単なトリアージの方法を周知していきます。

河津町医療救護計画
町は、予想される巨大地震

災害時の医療の流れ



information

トリアージとは？

多くの傷病者を緊急度や重症度に応じて分類し、治療や搬送の優先順位をつけることです。「トリアージ・タグ」という識別票で、緑・黄・赤・黒の4つに色分けします。



▲トリアージ・タグ

などの大規模災害から地域住民の命と健康を守るため、地震被害想定に基づく傷病者などを救護する体制を確立することを目的に「河津町医療救護計画」を定めています。計画では、平常時の備えや災害時の対応などを示しています。また、大規模な風水害などの局地災害があった場合にも準用します。10月に内容を改定し、町ホームページに掲載しましたのでご確認ください。

問

健康福祉課

☎ (34) 1937

まちの 出来事

恒例のどぶろく開き

田中 川津来宮神社例大祭

田中地区の来宮神社で10月19日・20日、川津来宮神社例大祭が行われました。

19日には、国指定天然記念物の大楠の前に作った舞台上、氏子らが氏神などに扮し、鳥精進酒精進の民話にまつわる「どぶろく開き」を披露しました。その後「フラダンス」や「鳥酒精進太鼓」の演奏が行われ、会場を盛り上げました。鳥酒精進太鼓では、子どもから大人までが力強く太鼓をたたき、新曲も披露するなど、熱いパフォーマンスで見ている人を楽しませました。



舞台上「どぶろく開き」の物語を披露

力強い鳥酒精神太鼓の演奏

7人が思いや提言を発表

第18回河津町青少年の主張大会

第18回河津町青少年の主張大会が11月9日、保健福祉センターで行われ、小学6年生から高校生までの7人が日頃の思いや将来の考えを発表しました。

＜発表者＞中村歩莉さん（東小6年）、中村息吹さん（西小6年）、萩原摩周さん（南小6年）、池田滯さん（河津中1年）、稲葉美穂さん（河津中2年）、濱野大翔さん（河津中3年）、楠亜菜音さん（稲取高1年）



「私のいるところ」を主張する楠さん

料理を楽しむ親子



小学生親子で楽しく料理

親子でつくる料理教室

親子でつくる料理教室が10月27日、保健福祉センター調理実習室で行われ、小学生の親子5組14人が参加しました。教室では、町管理栄養士が野菜の摂取量や減塩について説明し、河津町健康づくり食生活推進協議会の指導のもと、さけチーズごはんや具たくさん味噌汁、ヨーグルトミルクプリンなどを作りました。親子で食育について学びながら楽しく調理しました。

伝統の舞を厳かに披露

見高式^{さんばそう}三番叟奉納

見高浜地区の見高神社で10月23日、町指定無形民俗文化財の見高式三番叟が奉納され、多くの地域住民が訪れました。三番叟は、江戸歌舞伎の名優4代目市川小団次から地元の若者が舞を学び上演したのが始まりといわれ、毎年上演される見高浜地区の伝統芸能です。地元の若者が扮する翁や千歳、黒面の舞手が笛や太鼓の音に合わせて厳かに舞を披露しました。



伝統の舞を披露する舞手

地元高校生グルメが並ぶ

高校生のKAMOマルシェ 2019

高校生のKAMOマルシェ（県賀茂地域局主催）が11月4日、河津バガテル公園で行われました。マルシェでは、賀茂地区の高校生が地元の特産品やオリジナル商品の販売を行ったほか、吹奏楽部による演奏や美術展示が行われ、多くの来場者でにぎわいました。会場には、稲取高校被服食物部の「オレンち伊豆パン」など、高校生のオリジナル商品がずらりと並びました。



地元食材を使ったお菓子を販売する下田高校生徒

積み木でドームを作る子どもたち



1万個の積み木ワークショップ

「くれよんくらぶ」発足20周年

育児サークル「くれよんくらぶ」（石橋ひろみ代表）が発足20周年を迎え、記念の積み木ワークショップが10月19日、南小学校体育館で行われました。参加した4歳から小学生までの親子約80人は、講師の(株)童具館（和久洋三館長）の中島敦さんの指導のもと、1万個の積み木で創作活動を行いました。会場では積み木で大きなドームを作り、子どもらが中をくぐって遊びました。

バスに乗り整理券をとる児童



バスの乗り方を学ぶ

西小学校 バスの乗り方教室

バスの乗り方教室が11月1日、湯ヶ野駐車場で行われ、西小学校1・2年生24人が参加しました。教室では、(株)南伊豆東海バスの渡辺明彦副支配人が、バスの乗降方法や乗車時のマナー、車いすを利用した乗り方などを児童らにわかりやすく説明しました。児童らは、整理券を取ってバスに乗り、文化の家図書館までを往復し、乗車時のマナーを学びました。



「わさびのおいしさが広まる
といいな」と思いをはせる

MY DREAM 53

わさびの素晴らしさを伝えたい

金指 和希さん

かなざし かずき
湯ヶ野
西小学校6年

多くの夢は、わさびの素晴らしさを広めることです。ほくの家はわさび農家で、小さい頃からわさびを食べてきました。わさびは根の部分は生わさびとして、茎の部分はわさび漬けや三杯酢として全てを無駄なくおいしくいただくことのできる食材です。しかし、わさびの素晴らしさについて詳しく知っている人は少なく、刺身の薬味やパツゲムなどに使う食べ物と誤解している人が多いです。そこで、わさびの本当の素晴らしさを世界中に伝えたいと思いました。そのためには、ぼく自身がわさびに詳しくなくては

けません。ぼくは、わさびについて分からないことを父や祖父に聞いたり、わさび沢に手伝いに行ったりしています。わさびのあつかいは難しく、気をつけなければならぬことがたくさんあります。教えてもらうたびに新しいことがわかります。最近では、海外の有名なシェフがわさびの素晴らしさに目をつけたり、病気の予防にしたりすることがわかったりと、みんなの関心が高まっています。将来は大学でわさびを研究し、性質や効果を調べて素晴らしさを伝えていきたいです。



河津町地域おこし協力隊通信

鳥のさえずり vol.3



こし お 越尾 みゆ (23歳)

伊豆の国市出身。2019年4月、河津町地域おこし協力隊に着任。日本野鳥の会にも所属し、鳥を研究中。

<https://www.facebook.com/kawazu.kyouryokutai/>

ジョウビタキ (鳥鵲) ミニミニコラム
～12月に注目したい鳥～
冬鳥。オスとメスで色が違うのが特徴。メスは薄茶色にオレンジ色が入っており、オスは顔が黒っぽくお腹はオレンジ色。枝などに止まった時に見せる、せわしなくお辞儀をしながら尾を振る仕草が可愛いです。人に対して警戒心が薄めで、家の庭などにもやって来るので観察しやすい鳥です。

ニホンジカの特徴

今回は町内でも多くの被害を出している、ニホンジカのことをお話しします。

ニホンジカの角はオスにのみ生えており、毎年生え変わります。角は春に生え始め、秋には完成します。9月から11月までの繁殖期では完成した角でオス同士が喧嘩をしたり「フィーヨー」と大きな声で鳴くラッティングコールをしたりして、縄張りの主張やメスへのアピールをします。このラッティングコール、回数に注意して聞いてみると、大体3回、「フィーヨー」と連続して鳴いていますが、たまに4回鳴くこともあり、鳴く回数が多いほど強いオスなんだそうです。(私はまだ3回のコール

しか聞いたことがないので4回のコールを一度は聞いてみたいです)

角は歳によって大きさが変わってきます。1歳で1本角、2歳になると角が枝分かれし2股に、3歳では2回、4歳以上になると3回枝分かれをした立派な角が生えます。基本は枝分かれは3回までなのですが、たまに4回枝分かれをするようなレアなシカもいるので、もしシカに出会ったり、角を拾ったりしたら観察してみてください。



▲町内で拾った4歳以上のシカの角



図書館だより

http://www.town.kawazu.shizuoka.jp/library/

R1.12
No.200

【開館時間】

9:00～18:00 土・日は17時まで

【休館日】月曜・祝日・月末日

【問い合わせ】

町立文化の家図書館 ☎34-1115

図書館カレンダー 12-1月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	1/1	2	3	4

■は休館日です。本の返却は返却ボックスへ。

『石原忍文庫』に新しい本が加わりました



河津町の文化向上のためと、公益財団法人一新会から毎年図書購入費として助成をいただき、医療・科学分野に関する本を揃えています。今年は楽しい図鑑や大きな科学絵本、気楽に読める健康に関わる本を揃えました。今年度購入した本の紹介コーナーを設けました。ぜひご覧ください。

文化の家読書会 ～11月2日～



川端康成の「伊豆の踊子」と松本清張の「天城越え」を読み比べました。鈴木基館長が両作品の登場人物の設定を比べ、心情や行動の違いについて解説しました。参加者は、「清張のドラマは見たが作品は読んだことがなかった」「読み比べると面白かった」と感想を話していました。

★冬のイベント★

かわづっこ子育てねっと クリスマスおたのしみ会

絵本の読み聞かせ、創作あそび…楽しいことがいっぱいクリスマス会です。お友達と誘い合ってぜひ遊びに来てください。

とき 12月21日(土) 10時30分～11時30分 (申込不要)

ところ 文化の家 生涯学習室

今月のおはなし会



乳幼児向けの読み聞かせ はらぺこあおむしの会

0・1・2歳児向け 10時10分～10時30分

2・3歳児向け 10時40分～11時

12月5・12・19・26日 (毎週木曜日)

幼児向け お休み

「はらぺこあおむしの会」

2・3歳児向けに来てね。



小学生向けの読み聞かせ



時間(とき)のはこぶね



15時50分～16時20分

12月4・11・18・25日 (毎週水曜日)

※おはなし会は読み聞かせ室で行います。
変更がある場合は、図書館に掲示します。



語りかけから、始めよう。

今月のブックスタート



とき: 12月26日(木) 13時～

ところ: 保健福祉センターふれあいホール

対象者: 令和元年8月生まれの子ちゃん



館長のつぶやき...

「読書週間」が始まった日のことだった。読書時間が全くない大学生の割合が48パーセントだ、とキャスターがやや悲しげに報じていた。書籍の売り上げも、ピーク時の半分に落ち込んでいるという。本でなくてもネットで情報は得られる。だけど、それだけに偏らず、まとまった一冊の本を読み切るなど、幅広い視野を備えて欲しいとも感じた。「読書週間」が「読書習慣」を築く契機になることを願いたい。

新着図書案内

注目!

ご好評をいただいている大活字本コーナーに、新たな本15冊が加わりました。ぜひご利用ください! ほかにも新着図書があります。貸出中の場合は予約できます。

書名(一般書)	著者名	出版社
「生類憐みの令」の真実	仁科 邦男/著	草思社
親が知らない 子どものスマホ	鈴木 朋子/著	日経BP
温泉・森林浴と健康	森本 兼義/編 阿岸 祐幸/編	大修館書店
日々のものさし100	後藤 由紀子/著	パイ インター ナショナル
生命式	村田 沙耶香/著	河出書房新社

書名(児童書)	著者名	出版社
密着! お仕事24時 農家の1日	高山 リョウ/構成・文	岩崎書店
桃太郎は盗人なのか? 「桃 太郎」から考える鬼の正体	倉持 よつば/著	新日本出版社
こびとの台所 子どもがつくるうちのごはん	上田 のりこ/著	星の環会
百桃太郎	原 京子/文 原 ゆたか/絵	ポプラ社
おしょうがつバス	藤本 ともひこ/作・絵	鈴木出版

かわづで子育て

かわいく

■育児相談

日 時 1月7日(火)

10時～11時30分

場 所 保健福祉センター

ふれあいホール

対象者 子育て中の保護者

内 容 身体測定、離乳食や子どもの
食事に関する相談、育児相談
歯科相談

持ち物 母子健康手帳

■健康相談および母子健康手帳交付

日 時 12月16日(月)、1月6日(月)

13時30分～15時30分

場 所 保健福祉センター

持ち物 ・妊娠届出書(病院で配付さ
れた場合はご持参ください。)
・個人番号カードまたは通知
カード
・身元の確認ができるもの
(写真付きでない場合は2種
類ご持参ください)
・印鑑

■健診事後教室(要予約)

日 時 12月17日(火)

①未就園児

10時30分～11時45分

②幼稚園年少以上の年齢児

14時30分～16時

場 所 保健福祉センター

ふれあいホール

河津町24時間電話健康相談ダイヤル

育児・医療・健康・介護について
専門スタッフが相談に応じます

☎0120-560-655(年中無休)

●今月のテーマ

病は「口」から ～歯周病について～

健康福祉課 ☎34-1937

みなさんは「35歳以上の8割以上が歯周病である」として「歯周病は糖尿病、心臓病、肥満などの生活習慣病と深く関係し、互いに影響しあうこと」をご存知ですか？ 歯周病は立派な生活習慣病です。セルフチェックで早期発見、早期治療につなげましょう。

☑症状は？

自覚症状はありません。

気づいたときには症状はか

なり進行し、歯を失ってし

まいます。

☑原因は？

歯磨きのブラッシングが

十分でなかったり、砂糖を

過剰に摂取することです。

☑全身に及ぼす影響は？

歯周病菌や炎症で出た物

質が血管に入り込むことで

心臓病や脳梗塞、糖尿病の

悪化などにつながります。

歯周病のセルフチェック

- ☐ 歯を磨くと歯ぐきから血が出る
- ☐ 歯ぐきがプヨプヨしている
- ☐ 歯と歯の間にもものが詰まる
- ☐ 口臭が気になる
- ☐ 歯が浮いた感じがする
- ☐ 歯がグラグラする

※1つでもチェックがついたら早めに歯科医院を受診しましょう

また、喫煙や不規則な食生活などの生活習慣の乱れも大きな原因になります。

☑予防するには？

毎食後のブラッシングの

他に、歯間ブラシやデンタル

フロスを使い、歯の間の

汚れも意識してとるように

しましょう。そして生活習

慣を見直し、改善していく

ことも大切です。

☑検診を受けましょう

今年度40歳、50歳、60歳、

70歳の人は歯周病検診の対

象です。歯科医院に通院中

の人も対象になります。期

間は来年2月末までです。

早めに受診しましょう。

健康福祉課 中川舞香 保健師

早期発見のために 乳がん検診

乳がんは40歳代から50歳代にかけて罹患のピークを迎えます。40歳を過ぎたら必ず受診しましょう。

▶対象者

40歳以上で昨年度受診していない女性

▶内容

問診、マンモグラフィー

▶負担金

1,000円(70歳以上無料)

問健康福祉課

☎34-1937

乳がん検診(マンモグラフィー) 日程

区 分	実施日時	申 込 先
保健福祉センター 検診車	1月10日(金)～11日(土)、 14日(火)～17日(金)、25日(土)	健康福祉課 ☎34-1937
【医療機関】 伊豆今井浜病院	1月～2月 希望日1週間前までに電話予約	伊豆今井浜病院 【予約専用】 ☎0120-246-789 (受付時間14時～17時)
【医療機関】 下田メディカルセンター	1月～2月 希望日1週間前までに電話予約	下田メディカルセンター ☎25-2525 (受付時間8時30分～17時)

☒行政

☐財政

☐防災

☐消防

☒企画

☐福祉

☒子育て

☐介護

☐保険

☐健康

☐議会

☐窓口

☐税務

☐建設

☐水道

☐産業

☐教育



▲人気があった金目鯛の味噌汁サービス

第49回白馬村文化祭が11月1日から3日にかけて、長野県白馬村ウイング21で行われました。会場では、作品の展示やフリーマーケット、芸能音楽発表などが行われ、多くの来場者でにぎわいました。

河津町は、姉妹都市の白馬村で開催される文化祭に毎年参加しています。会場の河津金目鯛の味噌汁のサービスも行い、文化祭開始前から行列ができるほどの人気で、約500杯を提供しました。味噌汁を毎年楽しみにしているという人も多く訪れました。

11月3日@長野県白馬村 姉妹都市白馬村で特産品販売

河津町子ども・子育て会議が10月30日と11月21日、役場で行われました。

会議では、▼子ども・子育て支援事業計画▼子育て支援施設建設についてなどが話し合われました。子ども・子育て支援事業計画は、将来推計と各事業ニーズ量、見込み量について説明し、今後は1月

10月30日・11月21日@役場 子育て支援施設建設に向けて

河津町子ども・子育て会議が10月30日と11月21日、役場で行われました。

会議では、▼子ども・子育て支援事業計画▼子育て支援施設建設についてなどが話し合われました。子ども・子育て支援事業計画は、将来推計と各事業ニーズ量、見込み量について説明し、今後は1月

町政 Pick Up

10月 →→ 11月



▲夜のフランス広場にたたずむ

指定管理交渉断念、バラ園は町が直営へ 河津バガテル公園事業再生に向けて

河津バガテル公園の事業再生に向けて、指定管理者公募に応募がなかったことを受けて、公募時の事前説明会に参加した6社の中で、意欲のあった1社と9月から協議交渉を進めていました。しかし、10月24日にコンサルタント会社を通じて、相手企業から「交渉を打ち切りたい」との連絡があり、役場内で相手企業の

情報や対応を検討したところ、現状での交渉継続は困難と判断し、10月31日に河津バガテル公園事業再生検討委員会、11月3日に議員説明会を開催し報告しました。

今後の方針は▼バラ園部分を町の直営施設として維持管理を行う▼フランス広場も町の管理としたいが、再生に向けて民間の力を生かすことを

前提に考えていたため、部分的に民間の受託者を募集する。特にレストラン棟を活かした飲食の提供を民間委託の軸として考えたい▼受託者のリスク解消や業績による増額なども加味できる委託方式を検討したい、と考えています。

これから町の出店条件などを検討した上で民間事業者を募りたいと考えています。

◆今月の納税◆

後期高齢者医療保険料5期、介護保険料5期
12月25日(水)が納期です。

☎ 健康福祉課 ☎34-1937

国民健康保険税8期、固定資産税3期
12月25日(水)が納期です。

☎ 町民生活課 ☎34-1928

年末特別警戒実施します

県内の警察署では12月15日から12月31日まで、年末特別警戒を実施します。年末年始は出かける機会も多くなるので、カギかけの徹底と防犯対策を心がけましょう。

☎ 下田警察署管内防犯協会

☎27-2766

年末の交通安全県民運動

12月15日から12月31日まで、高齢者と子どもの交通事故防止や飲酒運転根絶を目標に年末の交通安全県民運動を実施します。16時以降は車のライトをつけ、安全運転を心がけましょう。

☎ 総務課防災係

☎34-1913

12/4~10 第71回人権週間

みんなで築こう 人権の世紀

1948年(昭和23年)12月10日、国連総会で「世界人権宣言」が採択されたのを記念し、12月10日を人権デーと定めるとともに、法務省と全国人権擁護委員協議会は毎年、4日から10日の一週間を「人権週間」と定め、その間、全国で各種啓発運動を実施しています。

皆さんも、この機会をきっかけに、それぞれの違いを認め合い、「思いやり」の心や「かけがえのない命」について、もう一度考えてみてください。

みんなの人権110番 ☎0570-003-110

子どもの人権110番 ☎0120-007-110

女性の人権ホットライン

☎0570-070-810

☎ 下田人権擁護委員協議会

☎22-0534

町民生活課窓口係

☎34-1932



人KENあゆみちゃんと人KENまる君

スマホから確定申告

スマホで確定申告書作成

令和2年1月から、2カ所以上の給与所得がある人、年金収入や副業などの雑所得がある人など、確定申告でスマートフォン専用画面を利用できる人の範囲が広がります。専用画面は、スマートフォンやタブレットに最適化したデザイン画面で所得税の確定申告書が作成できます。

e-Taxで手続き完結

マイナンバーカードとマイナンバーカード対応のスマートフォンを持っている人は、作成した申告書をe-Taxで送信できます。マイナンバーカード対応のスマートフォンを持っていない人も「ID・パスワード方式の届出完了通知」に記載されたID・パスワードがあれば、e-Taxで送信できます。

利用したい人は、国税庁ホームページにアクセスし、申告書を作成してe-Taxで送信しましょう。

☎ 下田税務署

☎22-0185

iZooで110番の日イベント

爬虫類が好きなアイドル「はちゅドル」の1日警察署長、Jimmy中山ミニコンサート、警察車両の展示などを行う110番の日イベントを開催します。

日 時 1月10日(金)

11時~11時30分

場 所 体験型動物園 iZoo

その他 イベント見学無料

☎ 下田警察署地域課

☎27-0110

交通事故補償問題を解決へ

自動車事故の被害にあわれ、示談をめぐる損害賠償問題でお困りの人へ、弁護士が無料で中立・公正な立場で当事者間の紛争解決のお手伝いをします。

法律の専門家を活用することにより、早期に紛争解決を図ることができます。電話予約をしてください。

☎ 交通事故紛争処理センター

静岡相談室

☎054-255-5528

年末ごみ減量にご協力を

平成29~令和元年度にエコクリーンセンター東河の大規模改修工事を実施しています。この間、通常2炉の焼却を1炉ずつの交代運転としますので、ごみの減量にご協力をお願いします。年末年始は持ち込みごみの増加が予想されます。持ち込み時期をずらすことや、ごみの減量に一層のご協力をお願いします。

【ごみの量実績】

平成30年10月	令和元年10月	前年比
308トン	297トン	-11トン

【不法投棄防止パトロール】

町では、定期的に不法投棄防止パトロールを行い、不法投棄の未然防止や早期発見に努めています。

不法投棄を「しない」はもちろん、「させない」適切な管理を行い、町の環境美化に努めましょう。

☎ 町民生活課窓口係

☎34-1932

住民基本台帳閲覧者の公表

住民基本台帳法第11条の2の規定に基づき、平成30年11月1日から令和元年10月31日までの河津町住民基本台帳の閲覧者を次のとおり公表します。

閲覧機関

1件(静岡県経営管理部ICT推進局統計調査課消費班)

閲覧日

令和元年8月9日

請求理由

2019年全国計構造調査の調査予定世帯を抽出するために作成する調査単位区世帯一覧(調査地域に居住している世帯の名簿)について、住民基本台帳に記載された情報を利用して作成することにより、行政事務の効率化を図るもの。

閲覧範囲

田中、笹原、浜、谷津、見高浜地区の全世帯

☎ 町民生活課窓口係

☎34-1932

暮らしの情報

ひとの動き

戸籍だより

(10月1日～31日届出)

相 談

身近なこと生活相談へ

日時・場所

12月18日(水) 10時～15時

保健福祉センター ボランティア団体室

☎社会福祉協議会 ☎34-1286

介護・法律相談

日時・場所

12月18日(水) 介護相談 10時～12時

法律相談 13時～15時

保健福祉センター 相談室2

法律相談は事前に予約をしてください。

☎社会福祉協議会 ☎34-1286

日本年金機構出張相談

日時・場所

1月10日(金) 下田市役所(要予約)

1月17日(金) 河津町役場(要予約)

9時30分～11時30分、13時～14時

電話予約をしてください。

☎下田市役所市民保健課

☎22-3922

河津町役場健康福祉課

☎34-1937



介護・認知症介護相談

介護相談

12月21日(土)、1月4日(土)

10時～15時

サンシニア河津 相談室

認知症介護相談

12月28日(土) 13時～15時

サンシニア河津 みねの家

☎サンシニア河津 ☎32-3203

サンシニア河津 みねの家

☎32-1158

暮らしなんでも相談

日常生活で起こるトラブルや悩みごと、困ったこと(心の悩み、消費生活、住まい、生きがい、介護、法律など)、どこに相談すれば良いかわからないときの相談窓口です。悩みごとと一緒に考え、専門的なアドバイスをしてくれる所を紹介します。

※相談・取り次ぎは原則無料ですが、専門家に相談する場合は別途料金がかかる場合があります。

相談ダイヤル ☎055-922-3715

受付時間 平日9時～17時

☎ライフサポートセンターしずおか

東部事務所 ☎055-922-3715

お知らせ

農林業センサスにご協力を

農林水産省では、令和2年2月1日現在で、全国一斉に「2020年農林業センサス」を実施します。この調査は、今後の農林業政策に役立てるために実施する大切な調査です。

調査員が農林業関係者のみなさんを訪問しますので、経営状況などの記入をお願いします。

調査票に記入した内容は、統計以外の目的には使用されません。

☎企画調整課企画調整係 ☎34-1924

経済センサスにご協力を

総務省統計局では、経済センサス-基礎調査を全国で実施しています。町では、12月から令和2年3月にかけて調査を実施します。この調査は事業所の活動状況を地域別に明らかにするための大切な調査です。

調査員が事業所の外観などから活動状況を確認します。新たに把握した事業所には調査票を配布しますので、ご協力をお願いします。



☎企画調整課企画調整係 ☎34-1924

※このコーナーに掲載を望まない場合は、お申し出ください。

人口と世帯

(11月1日現在)

人 口	7,205 人	前月比(+6)
(男)	3,488 人	
(女)	3,717 人	
世帯数	3,343 世帯	前月比(±0)



kawa-jin

かわづの



蜂谷さんの作品

空き家バンクを利用して昨年11月に河津町に移住してきた蜂谷隆之さん。谷津の自宅兼工房でさまざまな漆器を制作し、月に1〜2回、全国各地で展示会や個展を開催しています。

蜂谷さんは、高校時代に石川県輪島で出会った瀬戸国勝氏の漆塗りに惹かれ、大学卒業後に瀬戸氏に弟子入りして漆塗りを2年間修行しました。その後平成15年に独立。河津町に移住する前は、栃木県益子町で制作活動をしていました。山が多い益子町から、海や川もあり3時間以内で都心に行ける河津町で、漆塗りをする環境に良い空

き家を見つけ、移住を決めました。漆塗りは自宅の2部屋を専用の部屋として使用し、一人で制作しています。室内の温度や湿度を常に一定に保ち、ほこりにも注意する慎重な作業です。「器は、日常の食卓に合い和洋中選ばず料理を盛りやすいものを丁寧に制作するよう心がけています。」と話す蜂谷さん。2年先まで展示会の予定があるほど人気の蜂谷さんの漆器は、常に新作も作られ、100種類ほどあります。

制作の合間には、川で釣りをし、作った料理を漆器に盛り、お気に入りのウッドデッキで食べる、河津での暮らしを楽しんでいます。

日常使いに合う漆の器を



漆 工芸

蜂谷 隆之さん

はちや たかゆき

谷津 49歳

神奈川県横浜市出身。漆塗り職人は分業制が多いが、蜂谷さんは一人で漆塗りをしている。思いついたものを形にし、常に新作を編み出している。

(写真) ジブリアニメの「もののけ姫」で「たたらば」のシーンにでてくるざっくりした椀をモデルに作られた「たたらば椀」

ちやとつとつと

鉄人たちの熱いレース、河津フラワートライアスロン大会。写真撮影で町内を駆け巡り、スイム・バイク・ランと泳いで走り続ける選手を間近で追いかけてきました。スイム直後にもかかわらず、バイクで町内を疾走するスピードの速

さには毎年圧倒されます。最終種目のランでは、カメラを向けるとみなさんポーズを決めてくれたり笑顔を見せてくれたり、最終種目とは思えないほど元気で、大会を本当に楽しんでいるのが伝わってきました。

(S)

姉妹都市長野県白馬村通信

しろうま保育園遠足



しろうま保育園遠足

10月16日(水)、しろうま保育園の遠足がありました。0・1歳児は保育園周辺、2歳児は親水公園、3歳以上児はグリーンスポーツの森を散策しました。写真は、グリーンスポーツの森に出かけた3歳以上児です。お友達とさまざまな秋の発見をし、道中のさまざまなものに関心を持ちながら、長い道のりを歩きました。グリーンスポーツの森では、おいしいお弁当を食べ、元気いっぱい遊んだり、どんぐりや松ぼっくりを拾ったりしました。